

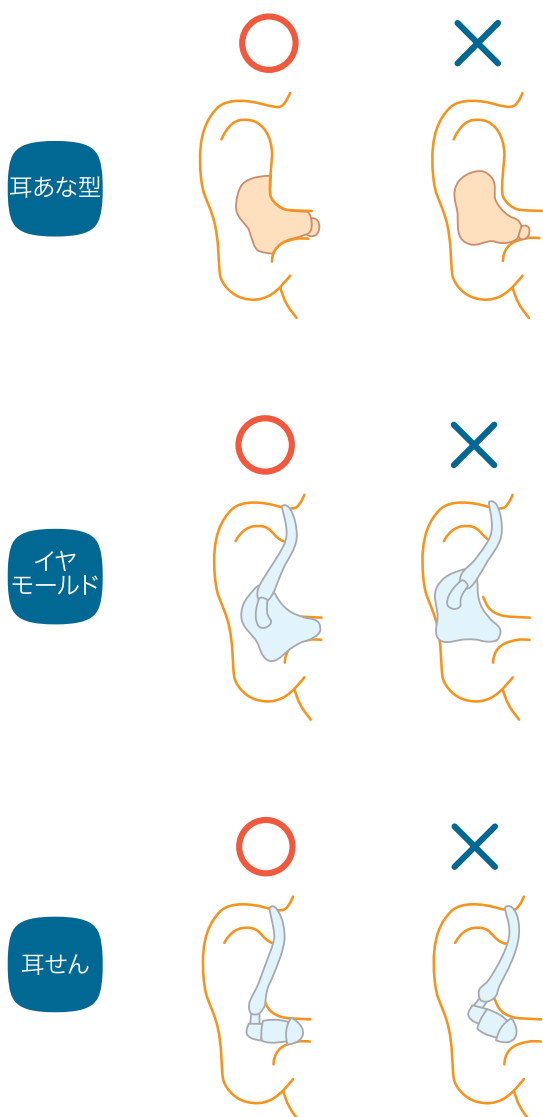
# ハウリング(ピーピー音)を防ぐためには

補聴器を装着しているときに、補聴器から「ピーピー」と音になる場合があります。これをハウリングといいます。ハウリングは、補聴器の音もれが原因である場合がほとんどです。補聴器や耳せんが耳あなにぴったりと合っていない場合、隙間ができて補聴器からの音もれてしまいハウリングが起こります。



## 補聴器や耳せん、イヤモールドが耳あなにぴったり入っているか確認しましょう

食事の際にあごを大きく動かしたりすると、ふとしたきっかけで補聴器と耳あなの間に隙間ができ、ハウリングが起こることがあります。



## ボリュームを下げてみましょう

ボリュームコントロール付の補聴器では、ボリュームを下げることも効果的な方法です。補聴器のボリュームが上がっているときは、音が大きくなっているため、ハウリングが起きやすくなります。



ボリュームコントロールの位置(例)

## それでもおさまらないときはお店にご相談ください

それでもハウリングが頻繁に起こるようでしたら、耳せん、イヤモールドが耳あなの形に合っていない可能性があります。耳あなの形は加齢による皮膚の弾力の衰えなどでも変わったり、痩せたり太ったりして体型が変化した場合にも変わることがあります。この場合には、耳かけ型補聴器はイヤモールドや耳せん、耳あな型補聴器は型の作り直しや調整が必要です。また、内部発振の場合、修理が必要となる場合があります。遠慮なく、ご来店、ご相談ください。